

お子さんが読んでいる本を いっしょに読んでみませんか

学校図書室の本を家族向けに貸し出し
てます。家読(うちどく)にご利用ください。
ご家族の貸し出しの際は、図書カードを
お作りしますので、職員にお知らせくださ
い。

学校が開いている時間内でしたらいつ
でもご利用いただけます。遅くならぬ場
合には、あらかじめご連絡いただければ
対応いたします。

そのほか、親子読書やお子さんが本に
親しむための環境づくりなどについてのご
相談も承りますので、遠慮なく、お問い合
わせください。

みなんで読書の楽しさを広げましょう。



貸し出しのための図書カードを作ります

子どもたちが使っているものと同じカードをお渡ししま
すので、ご記入ください。
借りたい本の書名を書きます。



貸出期間は、約1週間です

貸出期間は約1週間とします。お子さんにもたせて返
却いただいたりもけっこうです。時間外でしたら学校
の郵便受けに投函ください。期間を延長する場
合には、お知らせください。



貸出冊数は、1冊から2冊です

1度の貸し出しで1冊から2冊の貸し出しとします。
もし、その冊数以上の貸し出しについては、ご相談
ください。

家読(うちどく)って何ですか？

「家読(うちどく)」は読書を通して家族の
コミュニケーションを図ろうという活動で
す。本校でも実施している「朝読(あさど
く):朝の読書」の家庭版として、次第に広
がりを見せています。

子どもたちの読書の習慣を家庭にも広
げ、家族で感想を話し合ったり、本をす
めあうことで、家族のコミュニケーションを
深めることや家庭と学校が共に連携して取
り組むことで、子どもたちに本を読む習慣
を身に付けることを目的としています。

学校で取り組んでいる「朝読」が、子ども
たちの生活習慣の向上につながっている
ように、家読(うちどく)では、こうした読書
の効用を家庭にも取り入れ、読書体験を家
族で共有することで、生活リズムを整える
ことにもつながると言われています。

読書は個人的な体験ですが、感想を話し
合ったり、人にすすめてたりして言葉にするこ
とで、コミュニケーション能力や読解力、表
現力を高めることにもつながります。

「家読(うちどく)」は、子どもも大人もいっ
しょに成長し、心の豊かさを育む活動で
す。

家読(うちどく)のススメ



本は心の栄養



本を読む
本を選ぶ
お話を聞く

黒部市立前沢小学校

よく考え工夫する子
仲良く励み合う子
元気でがんばりぬく子

電話 0765(54)0770
FAX 0765(54)2548
Email: maezawa-es@tym.ed.jp

家読(うちどく)のススメ

読書は、ことばを学び、感性を磨き、学びの基礎をつくるなど、豊かな心とすぐれた知性をはぐくむ大切な営みです。特にこれから大きく育っていく子どもたちには、さまざまな本に出会い、読書の楽しみを味わうとともに、多くのことを学びとってほしいと思います。

前沢小学校では、本の楽しさを知り、読書に親しむ習慣を身に付けるために、朝の読書活動や読み聞かせ等の活動に取り組んでいます。学校の活動目標である「アクションプランのひとつに「読書の習慣化」を挙げています。

朝の読書「読書タイム」の定着によって、読書に親しむ子どもが増えています。しかし、読書量には個人差もみられ、アンケートなどの調査の結果からも、家庭での読書や親子で読書に親しむ機会の少ないことがわかってきました。

そこで、「家読(うちどく)のススメ」として家庭での読書の取組を呼びかけています。

家読(うちどく)ってどうすればいいの？

「家読(うちどく)のやり方に特に決まりはありません。基本は、「読んだ本について家族で話す」だけです。子ども向けの本に限りません。こんな本を読んだことがある、こんな本が読みたいと話してあげてください。それぞれの家族の事情にあわせて本をめぐって会話を楽しむ習慣が作れるとよいでしょう。

家読(うちどく)のポイント

いくつかの例を取組の10のポイントとして挙げてみました。参考にして、それぞれの家庭でできることからやってみましょう。

- ① 家族で話し合って「うちどくの日」を決めましょう。
 - ・週に1回、曜日などで決める
 - ・誕生日や家族の記念日にする
- ② わが家のスタイルを決めましょう。
 - ・同じ本を読む
 - ・大人が子どもに読み語りをする
 - ・子どもが親に読み語りをする
 - ・1冊の本を順番に音読する
 - ・「うちどくノート」をつくる
- ③ 家族で読む本を決めましょう。
- ④ ノーテレビ、ノーゲームで読書を楽しみましょう。

- ⑤ スキンシップを取りながら本を読みませよう。

- ・子どもを抱いて語りかけをする
- ・膝に座らせて読み語りをする
- ・同じテーブルを囲んで読書する

- ⑥ うちどくの記録を残しましょう

- ・感想ノート
- ・今読んでいる本がわかる「うちどくボード」
- ・うちどくカレンダー
- ・うちどく交換日記

- ⑦ 家族が子どもの頃に読んだ本やその頃の体験などの読書体験を話しましょう。

- ⑧ 家族で読んだ本、これから読む本を集めた家庭文庫をつくりましょう。

- ⑨ 図書館や本屋に行ってみよう。

- ⑩ うちどくに取り組む家族を増やしたり、うちどくをやっている家族と交流したりして、うちどくの仲間を広げましょう。

文部科学省「子ども読書の情報館」

<http://www.kodomodokusyo.go.jp/>

黒部市立図書館

<http://lib.city.kurobe.toyama.jp/>

宇奈月館

<http://lib.city.kurobe.toyama.jp/unazuki.html>